

足立区議会  
自由民主党

討論者



和 ない 員  
にたない 員

令和3年度予算は新型コロナウイルス感染症対策を柱とし、経済を下支えするとともに未来に向け、区立小・中学校の改築事業や大病院整備、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業を着実に推し進め、コロナ禍の先へと踏み出すための予算であった。

また、12回の補正予算編成を行い、基金を積極的に活用しつつ、感染症対策の強化を図り、区民や区内経済を守り支えるための必要な対策を講じてきた。

今後も感染症対策経費の支出が継続する中で、増加する社会保障費への対応、防災対策の強化、公共施設の更新経費の増大等取り組むべき課題は多岐にわたっている。さらに、本委員会会期中、北朝鮮より相次いで日本国民の生命、財産に重大な影響を及ぼしうる行為が行われた。日本を取り

巻く安全保障環境を鑑みれば、15年前に定められたが、緩慢な進捗となっている足立区国民保護計画の履行、特に備えの整備等早急に取り組むべき課題も山積している。行財政改革等を進歩させ、区民の生命、身体及び財産を守り、コロナ禍の先を見据え、区民の負託に応える高い使命感と倫理観が反映された行財政運営を要望する。

また、我が党委員が指摘した、物価高騰対策、産業政策の増強、基礎学力定着、財政健全化、新たな被害想定を踏まえた防災対策、水害対策、太陽光発電と蓄電池の配置推進、自衛官募集周知、治安対策、警察との連携強化、防犯カメラ、児童登下校時の安全対策、部活動地域移行、竹ノ塚駅周辺のまちづくり、西新井のまちづくり、駐輪場整備、適正な事業予算の組み立て、管理職の兼務ない組織づくり、内部統制、更生保護予算等、様々な提案及び要望事項を尊重することと合わせ、その実現を強く要望する。

足立区議会  
公明党

討論者



隴 員  
淵上 委

令和3年度予算は「乗り越え、そして踏み出す。あだちから」と銘打ち、歳出の中心は新型コロナウイルス対策であり、ワクチン接種PCR検査体制の充実や病床確保といった感染症対策に加え、区内経済の下支えとして販路拡大事業や区内初の3割のプレミアム付き商品券事業等、区民や事業者を守り支えることに力を置いた事業を実施した。このような事業は、我が党の要望が数多く反映され、区民の福祉、生活の向上につながる事業であり、高く評価をする。

今後は、引き続き感染防止対策に気を緩めることなく、社会経済活動との両立を一段と進めなければならぬ。特に新型コロナウイルスの感染拡大によって収入の減少や失業の増加等、貧困や格差拡大等の課題解決に向かつての継続した支援が必要である。

また、相次ぐ食料品等の値上げから家計を守る対策が急務である。長引くコロナ禍やウクライナ危機、物価高といった「多重危機」が国民生活に押し寄せている。その中でどこまでも区民に寄り添い、生活を守る政策が今ほど求められている時はない。「誰一人取り残さない」を理念として区民に安心と希望を届けていきたいと思う。本決算特別委員会において、我が党の各委員から要望のあった首都直下地震対策、広域避難対策、DX推進、ひとり親支援、障がい者支援、高齢者補聴器購入費助成、高齢者紙おむつ支給の拡充、認知症対策、産後ケアの充実、こころといのちの相談支援事業、地域図書館の充実、高台まちづくり、竹ノ塚駅付近のまちづくり、給食費の無償化、通園バス置き去り防止対策、不登校支援、ケアリーパー自立支援等、区政全般にわたる多くの要望、提案は区民の切実なる要望ととらえ、今後の予算編成を含め実現できるよう切に要望する。

特別  
決算委員会の  
討論(要旨)



令和4年決算特別委員会の映像は区議会ホームページでご覧いただけます。右の2次元バーコードからスマートフォン・タブレットでも視聴できます。

※令和5年3月に開会予定の予算特別委員会の期間中、YouTubeでインターネット生中継を行いますのでぜひご覧ください。



※決算特別委員会委員の名簿と委員会の審査結果は8面に掲載しています。

日本共産党  
足立区議団

討論者



西の原 えみ子 員  
西の原 委

令和3年度はわが党として歓迎する施策があったものの、コロナ対策としてののちやくらしを支えるために様々な給付を行っている時期に、あえて生きがい奨励金を廃止するという異常さであった。

当初、施策の再構築として打ち出した紙おむつの支給要件緩和について、新たに増えたのは380人程度と区の想定を大きく下回り、令和4年度に大幅な減額、敬老祝い金や元気応援ポイントも恩恵を受けたのは9

千700人程度であった。結局、生きがい奨励金の組み替えと称して、ごく一部の高齢者だけが恩恵を受ける制度に置き換わったのである。

公立保育園の定数を3年で51人減らす計画を打ち出し、子育てにも冷たい対応だ。コロナ対策の区独自予算は結局10億円余、コロナ禍でも区民サービスを削り、ため込んだ基金は史上最高の1千807億円となった。一方で、補助第25号線や西新井公園の開発、さらに北綾瀬ベデストリアンデッキ、花畑川環境整備工事等を今後行おうとしている。区政の優先度、在り方が厳しく問われる中、「コロナからのち・くらしを守

るよりも開発優先の姿勢」と言わざるを得ず、断じて認めることはできない。国民健康保険特別会計は、介護分の負担がある40歳から64歳までの年収300万円以上の子育て世帯は軒並み値上げとなり、苦しむ区民への負担を増やす在り方は到底認められない。

介護保険特別会計は、第8期も23区で一番高い介護保険料になり、その結果17億円余の決算剰余金が生じた。高齢者の痛みを寄せない姿勢は到底認められない。物価高騰でくらしが未曾有の困難を極める中、いのち・くらしを最優先にする区政に切り替えることを強く求める。

足立区議会  
立憲民主党

討論者



おぐら 修平 員  
おぐら 委

令和3年度予算は「乗り越え、そして踏み出す。あだちから」と銘打ち、新型コロナウイルス対策、区内経済の下支え等、区民や事業者を守り支える施策が示された。

令和3年度決算は良好な財政状況だが、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済への影響、物価高、今後の公共施設の更新、さらなる少子・超高齢社会の進展に伴う社会保障費の増や大規模災害への対応等、区財政を取り巻く環境は予断を許さない状況

特に、ふるさと納税の影響による減収への対策や、特別区民税をはじめとする税や国民健康保険料等の収入未済、不納欠損対策、歳入の確保について、強い危機感とスピード感をもって取り組むことを望む。

令和3年度は、刑法犯認知件数が戦後最少の3千212件へ減少、大規模災害への備えとして水害・震災対策等のさらなる強化、竹ノ塚駅付近の上下緩行線の高架化工事の完了、行政サービスのデジタル化促進や公金取納率の向上等の取り組みについて評価するものであるが、本決算特別委員会では我が会派から指摘した、決算審査の内容を新

年度予算や政策に適切に反映する仕組み作り、情報システムの構築・改造のさらなる経費削減と業務効率化、がん検診受診率のさらなる向上、生活困窮相談会等のさらなる周知・啓発、高齢者をはじめとする住宅確保要配慮者の住まいの支援策や都立高校入試に英語スピーキングテストの結果を反映させることの問題点等、今後の区政運営や新年度予算編成に対して反映するよう求める。

今後のさらなる区政の発展や区民生活の向上に向け、庁内の縦割りを越えて、協創により区の山積する課題に取り組むことを願う。

足立区議会  
議会改革を全力  
で推し進める会

討論者



長谷川 たかこ 員  
長谷川 委

水害・震災対策の強化、東京女子医科大学附属足立医療センターの開設や文教大学の開校、竹ノ塚駅付近鉄道高架化や六町駅前安全安心ステーションの開設、妊娠期から出産・子育て期の切れ目のない支援の拡充、学校教育における発達障がい特性のある子どもたちや不登校児への支援事業等、議会で長年私が提案してきた政策を実現してきたことについて高く評価する。

一方、コロナ禍におけるマスク着用の弊

害として、子どもたちの集中力やコミュニケーション力、学習意欲の低下等、健全な心身の成長を損ねる状況があり、学校現場における過度なマスク着用強要の是正を求め、声が多く挙がっている。区として何もしない責任は大きい。区は、大切な我が子の大事な成長過程における健全な心身の成長と命に関わる大きな問題として、一人ひとりの親が大変危惧しているという切実な思いを認識し、子どもたちの環境改善とあらゆる方に支援が行き届く新たな支援制度の構築に努めるよう強く指摘する。

また、本委員会での質疑をまとめて、次のことを指摘する。

区立保育所の指定管理について、高齢者補聴器購入費助成制度の拡充について、障がい者やその家族に対する個々の人権に配慮した対応と改善について、医療的ケア児支援事業の構築について、文化・芸術について、コロナ禍における子どもたちを取り巻く環境の改善について、誰一人取り残さない地域子育てコミュニティの創設及び子ども第三の居場所の構築について、発達障がい特性児・者・家族支援について、不登校児童・生徒への支援について。

これらの指摘に対して、今後の予算編成並びに執行、区政に反映されることを強く要望する。